エンジニアパーク Engineer Ring Park

松本　英明（まつもと　ひであき）

●水産部門（水産土木）
●建設部門（港湾及び空港）

勤務先

日本データーサービス株式会社
水工第Ⅱ部

➡次号は、木下春樹さん（建設部門）

技術士登録してから 15 年目になりました。早いものです。仕事では主に港湾・漁港を対象とした、防波堤等の施設整備、津波等防災、海域環境等を対象とした解析・検討を行っています。

元々化学系専攻で、入社後も数値計算を担当したため、業界内では毛色の違う技術者であったと思います。当時はシミュレーション技術が脚光を浴びた頃でしたので、仕事の数には不足せず、随分と沢山の仕事をこなしたものです。ハードでしたが基礎を固めるには良い経験でした。

得意分野は長年続けた解析ですが、時代に応じて技術ニーズも変化します。現会長の口癖「時代の変化に適応できないものは滅びる」を胸に、弛まず、しがみつかず、世に貢献できる技術を学び、発信していきたいです。時には残念なしがらみもありますが、この業界は懐が深く、様々な関係者とのお付き合いを通じて、お互い同じ方向に切磋琢磨できるところが素晴らしい。“技術士”資格とは、単なる管理技術者要件ではなく、まさに士（サムライ）を名乗るに値する技術者のエンブレムなのだなと思います。様々な立場の人達と苦労した案件が、結果として表彰や高得点の類を戴いた時には、良い縁に巡り会った事や関係した皆さんへの感謝の気持ちで一杯となったものです。

最近ようやく子に恵まれ、いま魔の 2 歳児を相手に悪戦苦闘しています。改めて自分が未来に何かを残せる仕事に就いている事を嬉しく思うとともに、まだ 20 年は稼がなくてはいけないプレッシャーもあり、今後も業界の中で皆さんと助け合いながら上手に年を取っていきたいと思っています。

それでは道内技術士の皆さんの更なるご発展を！

安元　和己（やすもと　かずみ）

●応用理学部門（地質）

勤務先

株式会社ドーコン
環境事業本部　地質部

➡次号は、米川　康さん
（応用理学部門／総合技術監理部門）

北海道には卒論のフィールドで初めて来て、その後も道内に就職したため、人生の半分近くを北海道で過ごしたことになりました。私は九州の田舎で育ったため暑さには強いはずでしたが、最近は体が順応してしまい、北海道の夏でも暑いと感じてきています。幼い頃より勉強嫌いだったこともあり、技術士の取得は時間がかかりました。仕事については、幸いにも周囲の環境に恵まれ、いろいろな事を経験することができました。学生の頃に指導教官と銭湯に行った時、「腹周りの大きさは人生の経験に比例する」と言われ、からかったことを思い出しましたが、私自身も悲しいことに順調にお腹周りが増えてきました。

さて、前号の富岡さんに引き続き、「薄毛」をテーマに私も述べたいと思います。最近、子供から「薄毛」でからかわれることが多く、幼児が書いた父の日の似顔絵も頭部が最も似ていました。そういうことを考えると少し寂しさを覚えるので、自分なりに薄毛で得（？）になることを、あえて挙げてみました。1）風呂上がりでもすぐに髪が乾くため、ドライヤーが不要。2）髪型の特徴が伝わり、相手に名前を覚えられやすい。3）同じ薄毛の人と一体感が生まれ、仲良くなれる。4）雨の降り始めが人より早くわかる。5）集合写真での自分の位置が見つけやすい。6）写真で若い頃の写真と比べて違いが大きいため、話題になる。7）（遺伝的に）「優性」なので、何となくうれしい。……

自虐的なものもありますが、富岡さんのコメントにもありますように、薄毛人口割合が増加しているため、主流派となる将来に期待をもちたいと思います。米川さん、次号をお願いします。